

令和6・7年度北薩地区指定「国語科」研究協力校 長島町立平尾小学校 研究公開

令和7年11月28日(金)

研究主題

自分の考えを適切に表現することができる児童の育成
～国語科の指導法改善を通して～

仮説1

各領域で指導計画や学習過程を工夫し、書いて表現することを意図的に設定すれば、児童は主体的に表現しようとする力を身に付けることができるのではないだろうか。

研究内容

単元導入の充実
・学習の山・言語活動モデル

仮説2

情報を取り出して整理したり、関係を捉えたりするための手立てを工夫すれば、児童は情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かす力を身に付けることができるのではないだろうか。

研究内容

ノート指導の充実
・全文シートの作成と活用・視点の明確化
・板書の工夫

言語環境の整備

言葉の貯金箱・国語辞典の活用・国語コーナー（教室内外）・俳句タイム・新聞投稿・音読発表・ペア読書



【開会行事】



【研究発表】



【第6学年授業】



【第4学年授業】



【分科会】



【閉会行事】

～参加者の声（アンケートフォーム回答より）～

- 書くことの授業で、ここまで対話的な授業ができることに感動しました。
- 子供たちが目的を理解し、相手意識をもって活動に取り組む姿が素晴らしかったです。
- 学習の見通しと振り返りにより、子供たちがゴールを明確に見据えた状態で授業に取り組んでいるのだと感じました。
- 子供の振り返りの文章が量も中身もねらいにぴったり応じて書かれているのを見て、清々しさを感じ、「素晴らしいものを見せていただいたな」という授業でした。
- リーフレットが見やすく、研究内容や成果等を理解しやすかったです。
- 全校体制で取組を重ねてこられたことで、子供たちも理解しやすく主体的に取り組むことができていたのだと思いました。